平成25年3月期　第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月2日

上 場 会 社 名　株式会社ファンケル　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　4921　　URL http://www.fancl.jp/
代　　表　　者　(役職名)代表取締役社長執行役員　　(氏名)成松　義文
問合せ先責任者　(役職名)取締役常務執行役員管理本部長　　(氏名)島田　和幸　TEL 045-226-1200

四半期報告書提出予定日　　平成24年11月9日
配当支払開始予定日　　平成24年12月5日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　　：　有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	40,610	△7.5	841	△44.7	1,097	△25.4	648	△19.0
24年3月期第2四半期	43,920	△4.1	1,521	△41.2	1,470	△40.2	801	△18.0

（注） 包括利益　　25年3月期第2四半期　657百万円(△17.9%)　　24年3月期第2四半期　800百万円(△17.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	10.00	9.95
24年3月期第2四半期	12.34	12.30

(2)連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	89,614	78,381	87.0
24年3月期	91,739	78,796	85.5

（参考） 自己資本　　25年3月期第2四半期　78,007百万円　　24年3月期　78,453百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	17.00	―	17.00	34.00
25年3月期	―	17.00			
25年3月期(予想)			―	17.00	34.00

（注） 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	83,500	△5.3	4,200	4.6	4,200	4.9	2,100	△14.4	32.36

（注） 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※　注記事項

(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：　無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　　―社（社名）　　、除外　　―社（社名）

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　有

② ①以外の会計方針の変更　　：　無

③ 会計上の見積りの変更　　：　有

④ 修正再表示　　：　無

(4)発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期2Q	65,176,600株	24年3月期	65,176,600株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	291,493株	24年3月期	291,185株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期2Q	64,885,243株	24年3月期2Q	64,909,935株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）５ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 4
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 5

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 6
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 6
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 6
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 6

３．四半期連結財務諸表 …… 7
（１）四半期連結貸借対照表 …… 7
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 9
四半期連結損益計算書 …… 9
四半期連結包括利益計算書 …… 10
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 11
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 13
（５）セグメント情報等 …… 13
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 13

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政策効果等を背景に内需が緩やかに増加するなど前半は回復基調が続いたものの、後半は海外経済が一段と減速したことから輸出や生産が減少して持ち直しの動きは一服しました。中国の景気拡大テンポの鈍化、欧州債務危機などの海外情勢の影響さらに政策効果の反動も予想され、先行きに対する不確実性は高まりつつあります。

当社は平成24年２月１日付で株式会社いいもの王国の雑貨販売事業を当企業集団外に譲渡いたしました。業績の状況においては、より実態に即した分析を行うため、前第２四半期連結累計期間は株式会社いいもの王国を連結していなかった前提（以下、「組替後」といいます。）に組み替えて比較しております。

当第２四半期連結累計期間の売上高は、平成24年３月にブランドの再構築（以下、「リブランディング」といいます。）を行ったファンケル化粧品が基礎化粧品を中心に売上を伸ばしたものの、栄養補助食品関連事業やその他が前年を下回り、全体では40,610百万円（前年同期比0.7%減）となりました。営業利益は、リブランディングに伴うマーケティング費用が増加いたしましたが、一方で全社的な経費コントロールにも努めた結果、841百万円（前年同期比48.3%減）となりました。経常利益は、非連結子会社の再編に伴う受取配当金を計上したことなどにより1,097百万円（前年同期比30.6%減）となりました。また、四半期純利益は648百万円（前年同期比29.3%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 化粧品関連事業

売上高

化粧品関連事業の売上高は22,649百万円（前年同期比0.0%増）となりました。

	平成24年３月期 前第２四半期連結累計期間 （組替後）		平成25年３月期 当第２四半期連結累計期間		伸び率 （%）
	金額 （百万円）	構成比 （%）	金額 （百万円）	構成比 （%）	
ファンケル化粧品	17,996	79.4	18,162	80.2	0.9
アテニア化粧品	3,978	17.6	3,720	16.4	△6.5
その他	673	3.0	766	3.4	13.8
合計	22,648	100.0	22,649	100.0	0.0

	平成24年３月期 前第２四半期連結累計期間 （組替後）		平成25年３月期 当第２四半期連結累計期間		伸び率 （%）
	金額 （百万円）	構成比 （%）	金額 （百万円）	構成比 （%）	
通信販売	11,159	49.3	11,126	49.1	△0.3
店舗販売	7,454	32.9	7,723	34.1	3.6
卸販売他	1,156	5.1	1,148	5.1	△0.7
海外	2,878	12.7	2,651	11.7	△7.9
合計	22,648	100.0	22,649	100.0	0.0

ファンケル化粧品は、平成24年３月に発売した「新無添加スキンケア」の販売が堅調に推移し、18,162百万円（前年同期比0.9％増）となりました。

アテニア化粧品は、サマーキャンペーンが振るわなかったことなどにより、3,720百万円（前年同期比6.5％減）となりました。

販売チャネル別では、通信販売は11,126百万円（前年同期比0.3％減）、店舗販売は7,723百万円（前年同期比3.6％増）、卸販売他は1,148百万円（前年同期比0.7％減）、海外は2,651百万円（前年同期比7.9％減）となりました。

営業損益

損益面では、ファンケル化粧品のリブランディングに伴い、ＴＶＣＭや大規模なサンプル製品配布キャンペーンなどによりマーケティング費用が増加した結果、営業利益は1,030百万円（前年同期比52.8％減）となりました。

② 栄養補助食品関連事業

売上高

栄養補助食品関連事業の売上高は13,185百万円（前年同期比1.3％減）となりました。

	平成24年３月期 前第２四半期連結累計期間 （組替後）		平成25年３月期 当第２四半期連結累計期間		伸び率 （％）
	金額 （百万円）	構成比 （％）	金額 （百万円）	構成比 （％）	
通信販売	5,554	41.6	5,177	39.3	△6.8
店舗販売	3,275	24.5	3,018	22.9	△7.9
卸販売他	3,333	25.0	3,586	27.2	7.6
海外	1,190	8.9	1,403	10.6	17.9
合計	13,354	100.0	13,185	100.0	△1.3

製品面では、平成24年６月にリニューアルしたダイエットサプリメント「カロリミット」が好調を維持したものの、その他の製品が振るわず減収となりました。

販売チャネル別では、通信販売は5,177百万円（前年同期比6.8％減）、店舗販売は3,018百万円（前年同期比7.9％減）、卸販売他は3,586百万円（前年同期比7.6％増）、海外は1,403百万円（前年同期比17.9％増）となりました。

営業損益

損益面では、減収となったものの、マーケティング費用が減少したことにより、営業利益は842百万円（前年同期比56.5％増）となりました。

③　その他

売上高

その他の売上高は4,775百万円（前年同期比2.2%減）となりました。

	平成24年３月期 前第２四半期連結累計期間 （組替後）	平成25年３月期 当第２四半期連結累計期間	伸び率 （%）
	金額 （百万円）	金額 （百万円）	
発芽米事業	1,425	1,412	△0.9
青汁事業	1,773	1,677	△5.4
その他の事業	1,682	1,685	0.2
合計	4,881	4,775	△2.2

発芽米事業は、卸販売他は堅調だったものの、通信販売が振るわず、1,412百万円（前年同期比0.9%減）となりました。

青汁事業は、主力の「ケールまるごと搾り」が堅調だったものの、その他の製品が振るわず、1,677百万円（前年同期比5.4%減）となりました。

その他の事業は、雑貨および肌着事業が増収となったことにより、1,685百万円（前年同期比0.2%増）となりました。

営業損益

損益面では、雑貨事業の収益性の改善などにより、営業損失は前年同期に比べて79百万円縮小し、144百万円となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

資産は、前連結会計年度末に比べて2,125百万円減少し、89,614百万円となりました。この要因は、流動資産の減少5,393百万円および固定資産の増加3,268百万円であります。流動資産の減少の主な要因は、現金及び預金の減少1,364百万円および有価証券の減少4,477百万円と受取手形及び売掛金の増加480百万円および前払費用の増加などによる流動資産「その他」の増加72百万円であります。固定資産の増加の主な要因は、ソフトウエアの取得などによる無形固定資産の増加149百万円および投資有価証券の増加などによる投資その他の資産の増加3,075百万円であります。

負債は、前連結会計年度末に比べて1,709百万円減少し、11,232百万円となりました。この要因は、流動負債の減少1,728百万円および固定負債の増加18百万円であります。流動負債の減少の主な要因は、支払手形及び買掛金の減少14百万円、未払法人税等の減少446百万円および未払金の減少などによる流動負債「その他」の減少1,310百万円であります。固定負債の増加の主な要因は、退職給付引当金の増加25百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて415百万円減少し、78,381百万円となりました。この主な要因は、配当金の支払いによる利益剰余金の減少1,103百万円と四半期純利益648百万円による増加であります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比べて1.5ポイント上昇し、87.0%となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第２四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」といいます。）は22,690百万円となり、前連結会計年度末より2,365百万円減少いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は611百万円（前年同期は3,086百万円の収入）となりました。この内訳の主なものは、税金等調整前四半期純利益902百万円および減価償却費1,659百万円などによる増加と、その他の流動負債の減少1,163百万円および法人税等の支払額617百万円などによる減少であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は1,862百万円（前年同期は1,478百万円の支出）となりました。この内訳の主なものは、有価証券の売却及び償還による収入3,000百万円などによる増加と、投資有価証券の取得による支出3,000百万円、無形固定資産の取得による支出1,180百万円および有形固定資産の取得による支出951百万円などによる減少であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は1,123百万円（前年同期は1,184百万円の支出）となりました。この内訳の主なものは、配当金の支払額1,099百万円などによるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間における業績動向を踏まえ、平成24年５月２日に公表いたしました通期業績予想の売上高を下方修正しております。

売上高は、ファンケル化粧品の新規顧客の獲得が当初計画を下回っていることや、健康関連事業の再構築の開始時期を当初予定の平成25年１月から平成25年春へ見直したことなどにより、当初計画の87,000百万円から3,500百万円減少し83,500百万円となる見込みです。

損益面では、売上高の減少に伴い売上総利益は減少するものの、健康関連事業の再構築の開始時期を見直したことによるマーケティング費用の減少や、今後も経費コントロールに努めることなどにより、当初計画からの変更はなく営業利益4,200百万円、経常利益4,200百万円および当期純利益2,100百万円となる見込みです。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第２四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益はそれぞれ25百万円増加しております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,149	16,785
受取手形及び売掛金	9,289	9,769
有価証券	13,382	8,905
商品及び製品	2,851	2,727
仕掛品	62	61
原材料及び貯蔵品	3,363	3,335
その他	2,214	2,286
貸倒引当金	△147	△97
流動資産合計	49,165	43,772
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	22,549	22,698
減価償却累計額及び減損損失累計額	△12,968	△13,280
建物及び構築物（純額）	9,580	9,418
機械装置及び運搬具	6,297	6,444
減価償却累計額及び減損損失累計額	△4,926	△5,124
機械装置及び運搬具（純額）	1,370	1,320
工具、器具及び備品	6,947	7,318
減価償却累計額及び減損損失累計額	△5,740	△5,999
工具、器具及び備品（純額）	1,206	1,319
土地	10,059	10,215
リース資産	299	279
減価償却累計額及び減損損失累計額	△224	△194
リース資産（純額）	75	85
その他	75	53
有形固定資産合計	22,368	22,411
無形固定資産		
のれん	284	－
その他	3,898	4,332
無形固定資産合計	4,182	4,332
投資その他の資産		
投資有価証券	11,861	15,006
その他	4,160	4,091
投資その他の資産合計	16,022	19,097
固定資産合計	42,573	45,841
資産合計	91,739	89,614

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,952	1,937
未払法人税等	681	235
賞与引当金	945	982
ポイント引当金	1,380	1,384
資産除去債務	1	3
その他	5,529	4,219
流動負債合計	10,490	8,762
固定負債		
退職給付引当金	1,603	1,628
役員退職慰労引当金	117	128
資産除去債務	478	481
その他	251	231
固定負債合計	2,451	2,470
負債合計	12,942	11,232
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,795	10,795
資本剰余金	11,706	11,706
利益剰余金	56,317	55,862
自己株式	△360	△360
株主資本合計	78,458	78,003
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4	4
その他の包括利益累計額合計	△4	4
新株予約権	343	373
純資産合計	78,796	78,381
負債純資産合計	91,739	89,614

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
売上高	43,920	40,610
売上原価	14,600	13,213
売上総利益	29,319	27,397
販売費及び一般管理費	27,798	26,556
営業利益	1,521	841
営業外収益		
受取利息	35	52
受取配当金	15	150
為替差益	－	8
保険返戻金	15	－
雑収入	55	115
営業外収益合計	121	327
営業外費用		
為替差損	4	－
貸倒引当金繰入額	138	52
雑損失	29	19
営業外費用合計	172	71
経常利益	1,470	1,097
特別利益		
固定資産売却益	3	－
貸倒引当金戻入額	125	－
受取保険金	52	－
新株予約権戻入益	139	－
現物配当に伴う交換利益	－	107
特別利益合計	320	107
特別損失		
固定資産売却損	3	－
固定資産除却損	5	6
減損損失	37	239
店舗閉鎖損失	72	45
抱合せ株式消滅差損	143	－
その他	36	10
特別損失合計	297	301
税金等調整前四半期純利益	1,492	902
法人税、住民税及び事業税	423	157
法人税等調整額	267	96
法人税等合計	691	254
少数株主損益調整前四半期純利益	801	648
四半期純利益	801	648

四半期連結包括利益計算書

第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	801	648
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	8
その他の包括利益合計	△0	8
四半期包括利益	800	657
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	800	657
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,492	902
減価償却費	1,585	1,659
減損損失	37	239
株式報酬費用	－	30
のれん償却額	56	56
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△6	41
賞与引当金の増減額（△は減少）	△12	37
ポイント引当金の増減額（△は減少）	40	4
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△475	25
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	4	10
受取利息及び受取配当金	△49	△202
為替差損益（△は益）	3	△12
投資有価証券売却損益（△は益）	0	－
投資有価証券評価損益（△は益）	7	－
固定資産売却損益（△は益）	△0	－
固定資産除却損	5	6
店舗閉鎖損失	72	45
抱合せ株式消滅差損益（△は益）	143	－
新株予約権戻入益	△139	－
現物配当に伴う交換利益	－	△107
売上債権の増減額（△は増加）	569	△480
たな卸資産の増減額（△は増加）	58	154
その他の流動資産の増減額（△は増加）	170	△174
その他の固定資産の増減額（△は増加）	23	4
仕入債務の増減額（△は減少）	223	△14
その他の流動負債の増減額（△は減少）	812	△1,163
その他の固定負債の増減額（△は減少）	6	△18
その他	△29	△16
小計	4,601	1,028
利息及び配当金の受取額	52	200
法人税等の支払額	△1,567	△617
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,086	611

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	－	500
有価証券の取得による支出	△1,000	－
有価証券の売却及び償還による収入	1,502	3,000
有形固定資産の取得による支出	△1,067	△951
有形固定資産の売却による収入	29	－
無形固定資産の取得による支出	△1,137	△1,180
投資有価証券の取得による支出	－	△3,000
投資有価証券の売却及び償還による収入	0	－
関係会社株式の取得による支出	－	△203
貸付けによる支出	△90	△73
貸付金の回収による収入	1	42
その他の支出	△19	△36
その他の収入	303	41
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,478	△1,862
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の処分による収入	0	－
自己株式の取得による支出	△53	△0
配当金の支払額	△1,100	△1,099
その他	△30	△23
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,184	△1,123
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	8
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	419	△2,365
現金及び現金同等物の期首残高	28,070	25,056
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	34	－
現金及び現金同等物の四半期末残高	28,524	22,690

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

前第２四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	化粧品関連事業	栄養補助食品関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	22,706	13,360	36,066	7,853	43,920	－	43,920
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－
計	22,706	13,360	36,066	7,853	43,920	－	43,920
セグメント利益又は損失（△）	2,204	540	2,744	△356	2,388	△867	1,521

（注）１　「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、雑貨・装身具類・肌着類・健康器具・家庭用雑貨の通信販売、発芽米事業、青汁事業、エステ事業等を含んでおります。

２　セグメント利益又は損失の調整額△867百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれており、その主なものは、報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務部門等に係る費用であります。

３　セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第２四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	化粧品関連事業	栄養補助食品関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	22,649	13,185	35,835	4,775	40,610	－	40,610
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－
計	22,649	13,185	35,835	4,775	40,610	－	40,610
セグメント利益又は損失（△）	1,030	842	1,873	△144	1,728	△886	841

（注）１　「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、雑貨・装身具類・肌着類の通信販売、発芽米事業、青汁事業、エステ事業等を含んでおります。

２　セグメント利益又は損失の調整額△886百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれており、その主なものは、報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務部門等に係る費用であります。

３　セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。